

## 公立大学法人 長野大学 理事会 議事録

- 日 時：令和6年6月26日（水） 9：30～11：30
- 場 所：長野大学 4-304会議室
- 出席者：平井利博（議長）、小林淳一、前田裕子、塚田國之、若林信一、熊谷圭介、山浦和彦、市村和久、金子和寛（監事）、柳原 渉（監事）
- 欠席者：織 英子

### 議事概要

#### 1 議事録

##### (1) 前回（5月29日理事会）議事録の確認・確定

熊谷理事から、議案第4号に関連した自分の発言のうち「令和8年度入学生の入試は抜本的に改革する予定なので、」という箇所を抜本的に変革するだけの時間は取れないため「令和8年度入学生の入試は変更となる予定なので、」に変えてほしいとの発言があった。他に発言はなし。

##### (2) 議事録署名人の廃止について

理事会において前回議事録を確認・確定させるとともにこれを記録することにより、これまで設けていた議事録署名人を廃止することを確認した。

#### 2 審議事項

##### 議案第1号 令和5年度決算について

##### 令和5年度事業報告書（業務実績の概要報告）

##### 監査報告

市村常任理事から議案第1号について説明があり、廣瀬経営・企画・財務担当課長から令和5年度決算等について、令和5年度財務諸表（案）及び決算報告書（案）の概要、別冊の財務諸表を用いて議案の説明があった。

金子監事から、資産見返負債が廃止になって、企業会計に合わせる趣旨だそうだが、分りにくくなった。企業会計では資産を取得するのに借り入れを起し、減価償却をしながら債務の返済をしていくのが通常であるが、本学では寄付金などで資産を取得して、翌年度以降は既に回収済みの資産について減価償却することになり、それはそれでやむを得ないが、それを省いて整理しないと本当の業績が見えてこない。手法としては圧縮記帳が適しているが、それは取れない。したがって、財務諸表はそのままで、本当の業績をまとめた資料を別途作成して理事会で説明する必要がある。また、相談されたいと発言があった。

上畑学長企画室長から令和5年度事業報告書（業務実績の概要報告）があり、了承された。

菊池総務・人事・施設担当課長から、監査の経過説明があり、理事長あての監査報告及び事務局長あての指摘事項があった旨の報告があり、金子監事から、監査結果の報告があった後、指摘事項のうち、内部監査の指摘事項に関して「教職員の打刻漏れについては、勤怠管理の基本なので打刻するよう徹底してほしい」との発言があり、また、人件費の統制管理について、人件費率は大学の規模等によってばらつきがあるのは当然で、本学としてどのレンジ（幅）にあるべきかをつかまえて、そこから外れているかどうかで適不適を判断できればいいかなと思い、指摘した。決して高すぎるという趣旨ではないとの発言があった。また、柳原監事からは、授業料の額について、上げたり下げたりするのは難しいので、慎重に判断されたいとの発言、契約の適正な履行に関する審査を行う委員会の設置と運営については、随意契約によることができる基準が「500万円未満」と高いので、適正な審査を行う委員会を設けて審査してほしいという趣旨であるとの発言、新学部の人材獲得に向けた処遇の検討については、人材の取り合いになっていることから、処遇面での優遇措置や一時金の支給など、設置者である上田市と協議して検討してほしいという趣旨であるとの発言があった。

## 議案第 2 号 地域経営学部設置事前相談について

熊谷理事から議案第 2 号について、別冊資料を含めて説明があり、前田理事から事前相談でうまくいかなかった場合の手続きについて質問があったが、これで進めることについて了承された。

また、田口学長特別補佐から、この資料だけでは分からないので、なぜ届け出で足りるのかについて、文部科学省の担当者が上司に説明するのに使える資料が追加で求められると思う、その準備をした方がいいとの助言があった。

理事長から学習者本位の視点が必要との指摘があり、田口学長特別補佐から、それはなぜその学部が必要なのかの説明のために当然必要で、その上で、なぜ届け出なのか、既存の学部の組み換えだけでなく改良点もあるという説明が必要、との助言があった。

## 議案第 3 号 令和 7 年度教員採用計画について

### 議案第 4 号 専任教員の公募について

小林学長から、令和 7 年度教員採用計画と専任教員の公募について一括して、別冊の人事申立書と募集要項を併せて説明があった。その際、議案第 4 号中の「環境情報科学部（仮称）」は「環境ツーリズム学部」の誤りとの説明があった。

塚田理事から、英語についてネイティブ限定にした方がいい、学問で英語を学んだ者にはジョークやニュアンスが分からない、コミュニケーションを重視するならできるだけネイティブを採用した方がいいとの指摘があり、今回も国際募集をかけるが、以前も募集したところ、適任者がいなかった。ネイティブで英語は話せるが、准教授に必要な研究歴などがネックになっていると回答したところ、努力目標でお願いしたいとの発言があった。

前田理事から、適任者がいれば教授でも採用できるか、と質問があり、教授が多すぎるのでバランス上、准教授で採用することを考えていると回答した。

職位と連動させるためには業績は必要で、英語の教員は新学部の所属となるので認可申請の際に業績等が文部科学省で審査対象となるので、そこは譲れないと回答した。

田口学長特別補佐から、スキルとしての英語を教えるのであれば、研究業績は不要で、A I で十分、求めるのが英語のできる研究者であるとすれば、むしろネイティブというより外国人を採用することが必要ではないかと助言があった。

若林理事から、品の悪い英語は大学で教えるのにふさわしくない、社会で尊敬を受ける英語を話す教員にきてほしいとの発言があった。熊谷理事から、本学でも E ラーニングは充実しているとの回答があった。

提案のとおり進めることで了承された。

### 議案第 5 号 新学部の名称変更及び諸規程の改正について

中山事務局次長から、議案第 5 号について説明があり、併せて吉田副学長から共創情報科学部（仮称）について、名称を変更するに至った理由、名称の意味等について説明があった。

前田理事から、名称変更について文部科学省に説明したか、との質問があり、説明の時間をもらえないか打診していると回答した。前田理事から、設置審には名称に強いこだわりを持つ委員がいるので、これまでの名称を変えるのであれば変えるなりのしっかりとした説明が必要で、新学部の中身ではなく名前でミソが付くのは面白くないとの指摘があった。田口学長特別補佐から、文部科学省の担当者に話している段階なので、「ご指摘を踏まえて名称を変えました」という説明でもいいのではないかと助言があった。

名称変更及びそれに伴う諸規程の変更については、了承された。

## 3 報告事項

### (1) 令和 6 年度内部監査計画について【内部監査担当】

高松内部監査担当参事から、令和 6 年度内部監査計画についての報告があった。

### (2) 学長選考会議委員の選出について【総務・人事・施設】

菊池総務・人事・施設担当課長から、学長選考会議委員について欠員であった 2 名が選出

されたので、今後、会議を開催して議長等の選出を行う旨の報告があった。

- (3) 常勤講師を採用するための就業規則等の改正（予定）について【総務・人事・施設】  
小山大学運営改革室主幹から、常勤講師を採用するための就業規則等の改正（予定）について、次回の経営審議会及び教育研究審議会までは待てないので書面で審議をお願いする予定であるため、先週の審議会に予告として提出した資料であり、理事会には、今後成案をもって提案する予定である旨を報告し、内容を説明した。
- (4) 上田市議会総務委員会との懇談会開催について【総務・人事・施設】  
菊池総務・人事・施設担当課長から、上田市議会総務委員会との懇談会が昨日開催された旨の報告があった。
- (5) 諏訪広域公立大学事務組合による行政視察について【総務・人事・施設】  
菊池総務・人事・施設担当課長から、諏訪広域公立大学事務組合による行政視察が来月10日に予定されていること、質問は事前に送られてきているので、回答についてはこれから精査して当日に備える旨の報告があった。
- (6) 大学院完成記念講演会及び HOPE2050 若者との県民対話の開催について【総務・人事・施設】  
菊池総務・人事・施設担当課長から、来月 27 日に昨年完成した大学院完成記念の講演会を行い、阿部知事に講演していただくこと及び同日に本学で県主催の HOPE2050 若者との県民対話が開催される旨の報告があった。
- (7) 研究不正防止に向けた取組（研究倫理教育）【市村理事】  
市村常任理事から、研究不正防止に向けた取り組みとして麻布大学の不正事例が報告された。
- 監事からのコメント  
上記以外に特になし。

以上

次回開催日 令和6年7月24日（水）

議長 平井 利博